

# 安全な堆肥化に必要な温度と時間を簡易に判定する示温剤を開発

家畜ふん堆肥化過程で発酵温度の最高到達温度とその継続時間が識別できる示温材の開発を試みた。継続時間を識別する示温材は、55℃以上の継続時間2.4日を識別できる。同時に最高到達温度を識別する示温材が65℃以上を示せば、家畜ふん堆肥の安全性を確保できる55℃・3日間を概ね確保できる。



図1 堆肥用示温材（試作品）

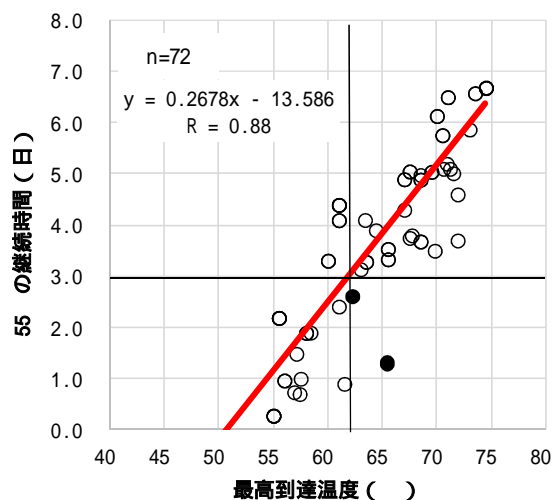


図2 最高到達温度と55℃の継続時間  
(平成25及び26年度データ解析結果)

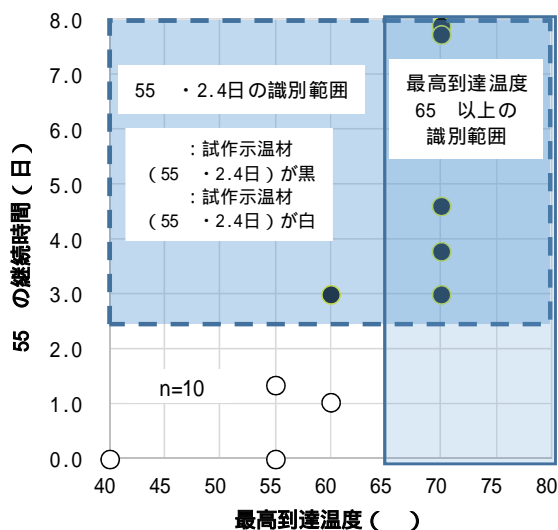


図3 最高到達温度と55℃の継続時間  
の実測値と試作示温材の識別  
(農家実証)

「55℃・2.4日を識別」できる示温材と「最高到達温度を識別」できる示温材を併用することで、堆肥の安全性の確保に必要な「55℃以上・3日間」の確認が可能